



ARTIST COMMENTARY

アーティスト・コメンタリー

# 能楽師

コメンテーター

シテ方喜多流能楽師

大島輝久

OHSHIMA Teruhisa



2020  
2/19 | WED

日暮里サニーホール

19:00 START 入場料 1,000円

コメンテーター

小鼓方大倉流能楽師

田邊恭資

TANABE Kyosuke



能の静謐な舞台上で

密やかに巻き起こる攻防。

その心中に迫る

コメンタリー上映会。



日暮里グノシー新書 シリーズ

学術・文化・芸術・科学技術など、様々なジャンルの研究者や表現者をセレクト。最先端の知見や現代と未来をつなぐ研究など、ちょっと難しい、でも「識る」「発見する」「考える」刺激と面白さに満ち溢れた「場」を提供します。トーク、映像、展示、パフォーマンスなど、日暮里サニーホールの空間を柔軟に活用した刺激的なシリーズ。ご期待ください。

主催：日暮里サニーホール指定管理者 株式会社コングレ



# 能楽師

能の公演記録を鑑賞するコメンタリー上映をおこないます。

コメンタリー上映とは、映像と並行して関係者が制作背景を語るトークイベントです。

能を観慣れない人からすると、そのパフォーマンスは一切隙のない完璧なひとつの構造体のように思われます。しかし人の手によって築かれた芸術であるからには、そう易々と成り立っているわけではありません。生の舞台を淀みなく遂行するための能楽師たちの暗躍がものすごく小さな単位で目の前にあふれていることに、観客は気付く余地もありません。それはとてもスリリングではないでしょうか。知る必要はないかもしれないけれど、知るとその凄味が迫力を増します。能の静謐な舞台で密やかに巻き起こっているあらゆることを、目と耳を凝らして、追いかけてみます。

## コメンテーター



シテ方喜多流能楽師  
大島 輝久  
OHSHIMA Teruhisa

シテ方喜多流能楽師。1976年広島県生まれ。大島家5代目として祖父久見、父政允（共に国総合認定重要無形文化財）に師事し、3歳「猩々」で初舞台。94年に喜多流・塩津哲生に師事し、ポーランド、オランダ、ベルギーほか、海外公演に参加。2010年より喜多流職分会に参画。14年、国総合認定重要無形文化財となる。18年、杉本博司による能公演「Noh Climax」に出演。「燦ノ会」共同主宰。



小鼓方大倉流能楽師  
田邊 恭資  
TANABE Kyosuke

小鼓方大倉流能楽師。1980年新潟県生まれ。法政大学卒業。小鼓方大倉流宗家、大倉源次郎に師事。国立能楽堂第七期能楽研修終了。これまでに「乱」「獅子」「道成寺」を披く。公益社団法人能楽協会会員。東京、千葉、新潟他で、小鼓教室を持つ。昨年より東京能楽囃子科協議会の広報を担当し、SNSをはじめ積極的な発信をおこなっている。

2020年2月19日(水) 19:00 (開場18:30) 入場料 1,000円 (全席自由)

お申し込み [www.sunny-move.jp/sunny](http://www.sunny-move.jp/sunny) (右のQRコードからもご覧いただけます)



## 日暮里サニーホール SUNNY HALL

〒116-0014  
東京都荒川区東日暮里5-50-5 ホテルラングウッド4F  
TEL 03-3807-3211

- JR・京成「日暮里」駅南口より徒歩1分
- 日暮里・舎人ライナー「日暮里」駅より徒歩3分

主催：日暮里サニーホール指定管理者 株式会社コングレ

※記載の内容は、予告なく変更になる場合がございます。

